

研究機関：広島大学

研究課題名	急性肩鎖関節脱臼に対する鏡視下烏口鎖骨靭帯・肩鎖靭帯同時再建術の術後成績の調査
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科整形外科学 教授 安達 伸生
研究期間	2021年6月2日(倫理委員会承認後)～2022年12月31日
対象者	<p>2014年1月から2019年3月の間に、広島大学病院整形外科で急性肩鎖関節脱臼の病名で鏡視下靭帯再建術による治療を受けられた患者さん。</p> <p>除外)外傷後6週以上経過した慢性例</p>
意義・目的	<p>急性肩鎖関節脱臼に対する鏡視下靭帯再建術は様々な方法が報告されており、現在1つのトンネルで行う方法と2つのトンネルで行う方法ありますが、われわれは2つのトンネルで2本の靭帯を再建するだけでなくさらに肩鎖関節上方の靭帯も同時に再建する方法を考案して臨床応用しています。今回、この手術方法の成績を明らかにするため、この研究を計画しました。</p>
方法	<p>本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は身長、体重、年齢、性別、手術側、レントゲンやMRIといった画像所見、術後の可動域や筋力といった測定数値です。</p> <p>(個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p>
共同研究機関	ありません。
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科整形外科学 教授 安達 伸生
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>Tel: 082-257-5233</p> <p>広島大学病院整形外科 職名 講師 横矢 晋</p>